

2.16. 情報メディア学講座

2.16.1. 講座の概要

(a) 講座の簡単な説明, キーワード

インターネットとは、元々コンピュータ同士が情報をやり取りするための仕組みでした。しかし、多くの人々がそれを便利な道具として情報をやり取りすることにより、インターネットはコミュニケーションの場、すなわち双方向のメディアとなりました。さらに、そこではコンテンツ（販売品や放送内容）が提供され、インターネットはマーケットとなり、それを支える基盤は産業となりました。このようにメディアそしてマーケットとなったインターネットが、既存のメディアやマーケットと大きく異なるのは、知恵と技術を駆使すれば、さらにその上に無限の新しいメディアや新しいマーケットを創成できるという点にあります。

本講座では、こんな観点から新しいメディアの技術開発から利用技術までを一貫して研究しています。そのため、おのずと他の研究室、他の領域の人々との連携が必須となりますし、他大学、企業との共同研究も多くなります。そのような相互協力の中から、新しいことを考え、ものを作り出していこうとしています。

キーワード： メディア, インターネット, ヒューマンコンピュータインタラクション

(b) 年度目標

- 人、モノ、環境が、コンピュータやネットワークを通じて密接な社会的関係を結び合うことで得られるより豊かな社会を創造するために幅広い観点からの研究を行う。今年度は、(1) 環境に着目した、コンテキストアウェアなソフトウェア、(2) 人とモノの関係に新たなインタラクションスタイル、およびこれらの応用について研究を行う。
- 情報化社会における最近の研究動向を的確に捕らえ、それらを発表することにより、様々なコンピュータソフトウェア、利用するユーザ、ヒューマンコンピュータインタラクションについての知識を身につける。また、その中から問題点を自ら発見し、それを解決する手法を考える。

(c) 講座構成教員名

布川博士, 佐藤究, 小笠原直人

(d) 研究テーマ

- コンピュータで利用できる情報メディアの高度利用
- 感性パラメタによる経営組織のシミュレーション
- 東北地域におけるソフト系IT分野における戦略的産学連携手法の確立
- 健康情報システムの構築
- 握るという行為を用いた個人認証システムに関する研究

(e) 在籍学生数

博士(前期): 0名, 博士(後期): 1名, 卒研生: 8名, 研究生: 0名